

建設通信新聞

最新技術と知見発信

イノベーション大会

協が
日12
測、
日11

日本測量協会(清水英範会長)は11、12の両日、東京都文京区の東京大学伊藤国際学術研究センターをメイン会場に「測量・地理空間情報イノベーション大会2024」を開く。全国9支部のサテライト会場を結んで測量・地理空間情報に関する技術とそれを利用して新事業の展開、人材育成や教育研修など、同分野の技術革新に役立つ幅広い議論と情報発信の場とする。7月1日から21日まで、オンデマンド配信も実施する。

大会は、スペーシャリストの会とジオメトリストの会が共催する。会場開催の初日となる11日は、空間情報技術の最新動向や地殻変動観測からみた能登半島地震に関する特別講演のほか、IoT(モノ

のインターネット)やビッグデータ、AI(人工知能)などへの航空測量大手4社の対応、測量・地理空間情報女性の技術力向上委員会(ソクジヨの会)の活動に関するパネルディスカッションがある。

12日は、能登半島地震への災害対応、準天頂衛星、GNSS(衛星測位システム)などの最新動向などの講演と、近年の災害対応事例を基にしたパネルディスカッションなどを行う。

会場には、能登半島地震災害対応展示やポスター展示なども設ける。詳細は協会ホームページ(<https://www.jsurv.jp/>)。